



ニセクロナマコ（楯手目クロナマコ科） *Holothuria leucospirota*

大きさ：体長 20~30cm。

特 徴：体は非常にやわらかく、細長い円筒形で全体が黒い。クロナマコに似ているが、体に砂粒をつけることが少ない。  
藻場内の砂地に生息する。

分 布：紀伊半島以南：インド洋・西大西洋。

泡瀬地区の干潟で、もっとも普通に観察できるナマコである。ただの円筒形ではなく、どちらか一方が細くなっている。その細い方が口であり、海底に落ちてきた有機物を砂と一緒に触手で取り込み、消化し養分を吸収する。海底には、消化された砂の糞が細い帯のようにできる。魚などがつつくと、肛門からキュービエ（内臓）器官というネバネバした白いソーメンの様なものを出す。